



SKK
SUPERIOR
COATINGS

F I N E M E T A L L I C W

水性ファインメタリック

水性メタリック塗料

水性ファインメタリックは、従来にない新色調のメタリック塗料です。水性系であるため、安全性に優れ、環境にも優しい塗料です。また一液タイプのため、二液硬化形塗料のような煩わしさや、可使時間がなく、作業性の向上にもつながります。新感覚の水性メタリック塗料を、新しい空間の創造にお役立て下さい。

特長

優れた意匠性

金属光沢の輝きを持つメタリック調の仕上がりを、豊富に取り揃えています。

高耐候性（外装仕様）

トップコートに水性アクリルシリコン樹脂クリヤーを採用することで、耐候性、低汚染性、耐久性に優れた塗膜を提供します。

安全性

水性のため、環境に優しく安全性に優れています。また、人体に有害とされる重金属類（鉛・クロム）やイソシアネートなどを含まれていません。

優れた作業性

溶剤形塗料に比べ臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。また、二液硬化形塗料のような煩わしさや、可使時間（ポットライフ）がないため、取り扱いやすくなっています。

適用下地

カーテンウォール、GRC 板、サッシュ、
無機成形板
コンクリートおよびセメントモルタル金ごて
仕上など

用途

戸建て住宅、マンションの内外装
店舗、ホテルの内外装

荷姿

水性ミラクシーラーエコ（クリヤー・ホワイト）	15kg 石油缶（標準塗坪 116～150 m ² /缶）
水性ファインメタリック中塗材	16 kg 石油缶（標準塗坪 106～123 m ² /缶）
水性ファインメタリック	15 kg 石油缶（標準塗坪 50～57 m ² /缶）
SK シリコンクリヤー-W	15 kg 石油缶（標準塗坪 107～125 m ² /缶）

上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承下さい。

《危険情報と安全対策》

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。またMSDS（製品安全データシート）もご参照下さい。特に 印のついている製品は、溶剤形のため、下記の点にご注意下さい。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行って下さい。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分注意して下さい。

標準施工仕様例

内装仕様

(20、65%RH)

工程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地	・ 下地はよく乾燥させ、含水率 10%以下、pH10 以下として下さい。 ・ 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい。							
1	下塗り ¹ 水性ミラクシーラーエコ (クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1		2 以上		ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：400~800ml/分 パターン幅：25~30cm
2	中塗り ³ 水性ファインメタリック 中塗材	100	0.13~0.15	1		2 以上 7 日以内		ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：400~800ml/分 パターン幅：25~30cm
	清水	0~20						
3	上塗り ^{2,3} 水性ファインメタリック	100	0.26~0.30	2	2 以上 7 日以内	2 以上 7 日以内		スプレーガン 口径：2.0~2.5 mm 圧力：588~686kPa (6~7 kgf/cm ²)
	清水	5~20						

外装仕様

(20、65%RH)

4	トップ ³ コート	SK シリコンクリヤーW	100	0.12~0.14	1		24 以上	エアレススプレーガン 吐出量：400~800ml/分 パターン幅：25~30cm
	清水	0~20						

- 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押出成形セメント板、GRC 板、PC 部材などには、下塗材として ミラクシーラーEPO (15 kgセット) をご使用下さい。また、金属下地 (アルミカーテンウォールなど) には、下塗材として SK マイルドボーセイ (16 kgセット) をご使用下さい。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
- 塗装器具はスプレーガン (口径：2.0~2.5 mm) を推奨します。また、外部など塗装面積が大面積の場合は、飛散を抑制するために、エアコートガンの使用を推奨します。
- 各材料の希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承下さい。

施工上の注意点

- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5 以下、湿度 85%以上での施工は原則的に避けて下さい。気温 5 以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を 5 以上にして下さい。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌して下さい。

性能試験成績表

試験項目	結果	規 定
容器の中での状態	合格	JIS K5600-1-1 の 4.1.2a) に準拠 かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること。
低温安定性 (- 5)	合格	JIS K5600-2-7 の 4. に準拠 変質しないこと。
塗膜の外観	合格	JIS K5600-1-1 の 4.4 に準拠 塗膜の外観が正常であること。
耐水性	合格	JIS K5600-6-1 の 7.方法 1 (浸せき法) に準拠 96 時間浸したとき光沢保持率が 80%以上で、塗面に異常がないこと。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	JIS K5600-7-4 に準拠 光沢保持率が 80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えること。

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

特記仕様がある場合は、これを最優先にして下さい。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。